

## ▶ 株式の状況 (2020年3月31日現在)

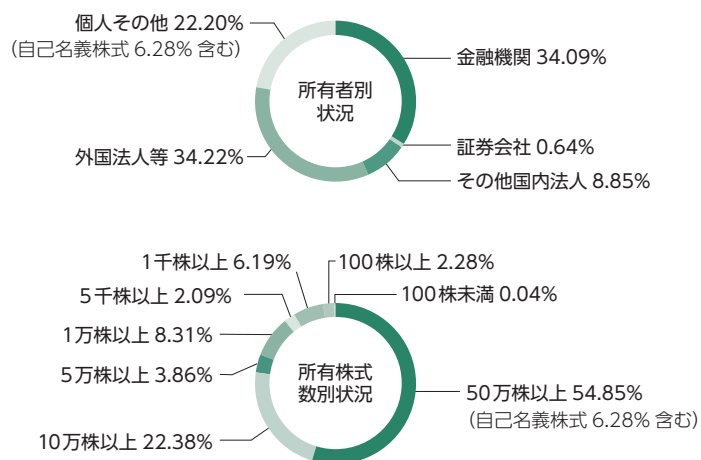
発行可能株式総数	155,673,598 株
発行済株式の総数	25,000,000 株
株主数	3,736 名

## ■ 大株主の状況 (上位10名)

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,084	8.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,445	6.17
株式会社三井住友銀行	1,122	4.79
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,073	4.58
株式会社三菱UFJ銀行	864	3.69
住友生命保険相互会社	861	3.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	775	3.31
日本生命保険相互会社	736	3.14
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	708	3.02
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	645	2.76
計	10,319	44.04

- 上記のほか当社所有の自己株式 1,570 千株があります。
- 所有株式数は千株未満切り捨て、所有割合は自己株式を控除して計算しています。

## ■ 株式の分布状況



## ▶ 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社リョーサン
英訳名	Ryosan Company, Limited
本店所在地	東京都千代田区東神田二丁目3番5号
資本金	17,690,508,514 円
従業員数	615 名 (連結: 983 名)

## 役員

取締役		監査等委員	
代表取締役	稲葉 和彦	取締役	南部 真也
取締役	坂元 岩男	社外取締役	佐藤 文昭
取締役	西浦 政秀	社外取締役	桑畑 英紀
		社外取締役	小川 真人
		社外取締役	田村 裕一
執行役員			
社長執行役員	稲葉 和彦	執行役員	小林 博
上席執行役員	坂元 岩男	執行役員	猪狩 裕之
上席執行役員	西浦 政秀	執行役員	水澤 聡
上席執行役員	佐藤 和典	執行役員	石村 賢治
上席執行役員	吉泉 康雄	執行役員	岩舘 隆二
		執行役員	齊藤 和広
		執行役員	遠藤 俊哉
		執行役員	木寅 博文
		執行役員	中東 辰美
		執行役員	桐畑 保彦

## ▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年 3月31日 期末配当金 毎年 3月31日 中間配当金 毎年 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とします。 ( <a href="https://www.ryosan.co.jp/jpn/koukoku/">https://www.ryosan.co.jp/jpn/koukoku/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による告知ができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
各種お問合せ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
証券コード	8140
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。  
証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお問い合わせください。



RYOSAN

# BUSINESS REPORT

2020年3月期

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株式会社リョーサン

証券コード: 8140

Electronics  
System  
Coordinator

## ▶ 決算のご報告



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2020年2月に代表取締役社長執行役員に就任いたしました稲葉和彦でございます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当連結会計年度（2019年4月1日～2020年3月31日）決算の概要についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦の影響等により減速基調が続く中、年度後半には新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界各国の経済活動に甚大な影響を及ぼしました。日本経済もタイミングの違いはあったものの世界経済と同様な展開を辿り、大幅な落ち込みとなりました。

当社グループが従事しておりますエレクトロニクス業界も、産業機器や自動車市場の需要低迷に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、総じて厳しい状況となりました。

当社グループは、期初に第10次中期経営計画を凍結し、収益向上対応策に着手。赤字事業の撲滅、組織の適正化、ソリューションビジネスの選択と集中、人員の適正化等の事業ポートフォリオの体質改善に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は2,272億97百万円（前期比9.0%減）、営業利益は売上高の減少や収益向上対応策推進に伴う不動産在庫廃棄による売上総利益の減少等から31億8百万円（前期比40.6%減）、経常利益は前期に生じた外貨建負債等の評価替えに伴う為替差損が差益に転じたものの29億16百万円（前期比26.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は拠点統廃合に伴う減損損失

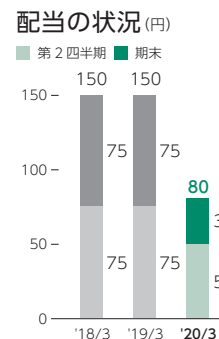
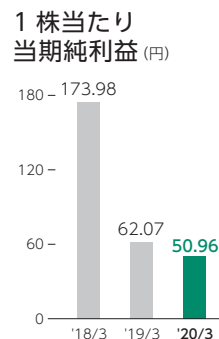
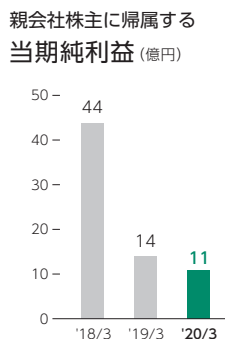
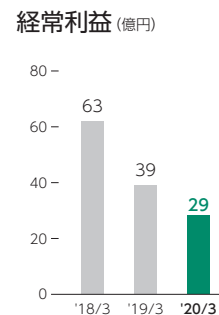
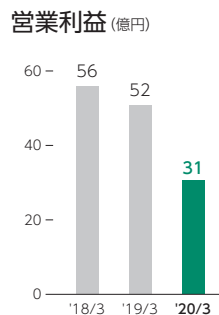
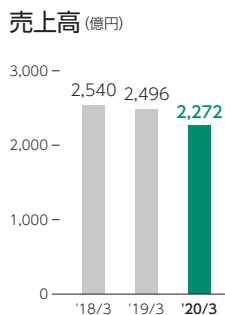
や希望退職制度実施等により11億93百万円（前期比19.3%減）となりました。結果的には新型コロナウイルス感染症の影響は限定的なものに留まりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策の一つと認識すると共に、1株当たりの当期純利益の向上に努めております。配当につきましては、安定的に高配当を維持するべく連結配当性向50%以上を基本方針としています。

当連結会計年度の期末配当につきましては、連結業績が予想値を下回る結果となったこと並びに新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ業績への影響が2021年3月期に本格化することを勘案、持続的な成長に向け内部留保充実を図る観点から、1株当たり50円の予定から30円とさせていただきます。その結果、中間配当金を含めました年間配当金は1株当たり80円となります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員  
稲葉 和彦

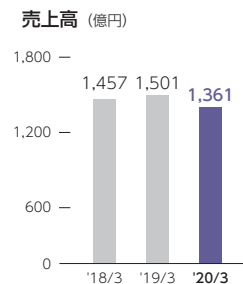


## 半導体事業

売上高構成比 59.9%

システムLSI、個別半導体、  
メモリの販売並びに  
システムLSIの受託開発

産業機器や車載向けの落ち込み等により、売上高は1,361億54百万円（前期比9.3%減）、不動産在庫廃棄による売上総利益の減少等から営業利益は11億62百万円（前期比52.9%減）となりました。

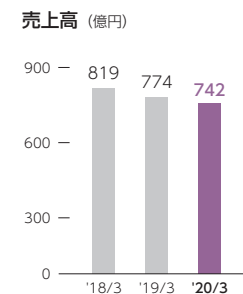


## 電子部品事業

売上高構成比 32.6%

機構部品、表示デバイス、電源の販売

産業機器向け高付加価値商品の販売低調等により、売上高は742億8百万円（前期比4.2%減）、営業利益は21億42百万円（前期比19.2%減）となりました。



## 電子機器事業

売上高構成比 7.5%

システム機器、設備機器の販売

車載向け大型案件が低調に推移したこと等により、売上高は169億34百万円（前期比23.5%減）となったものの、高付加価値商品の取り扱い等があり営業利益は3億83百万円（前期比0.2%増）となりました。

